

文部科学省における政策評価について

大臣官房政策課

「行政機関が行う政策の評価に関する法律」に基づき、国の行政機関は、毎年度、政策評価を実施し、作成した評価書及びその要旨を総務大臣へ送付するとともに、公表する必要がある。

【事後評価・事前評価の概要】

(1) 事後評価

対象：前年度実施施策のうち評価サイクルに当たるものを5段階で評価
(※平成26年度は11施策)(別添1)

(2) 事前評価

① 新規・拡充事業に関する事前評価

対象：新規・拡充事業の内、10億円以上を要することが見込まれる研究開発事業

② 税制改正要望に関する事前評価

対象：法人税・法人事業税・法人住民税に関する租税特別措置・税負担軽減措置に該当するもの

※評価に当たっては、政策評価に関する有識者会議や科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会から評価内容等について助言を得ている。

【評価結果(案)】

(1) 事後評価(別添2)

・ 目標超過達成	:	無し
・ 目標達成	:	3 施策
・ 相当程度進展あり	:	8 施策
・ 進展が大きくない	:	無し
・ 目標に向かっていない	:	無し

(2) 事前評価(別添3)

平成28年度概算要求・税制改正要望の必要性等が認められる。

平成26年度 文部科学省の使命と政策目標

文部科学省の使命

教育、科学技術・学術、文化、スポーツの振興を未来への先行投資と位置付け、これを通じ、「教育・文化立国」と「科学技術創造立国」を実現する。

政策目標1 生涯学習社会の実現

国民一人一人が、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会を実現する。

- 施策目標1-1 教育改革に関する基本的な政策の推進等
- 施策目標1-2 生涯を通じた学習機会の拡大
- 施策目標1-3 地域の教育力の向上
- 施策目標1-4 家庭の教育力の向上
- 施策目標1-5 ICTを活用した教育・学習の振興

政策目標2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり

子供たちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに信頼される学校づくりを進める。

- 施策目標2-1 確かな学力の育成
- 施策目標2-2 豊かな心の育成
- 施策目標2-3 青少年の健全育成
- 施策目標2-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進
- 施策目標2-5 地域住民に開かれた信頼される学校づくり
- 施策目標2-6 魅力ある優れた教員の養成・確保
- 施策目標2-7 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進
- 施策目標2-8 教育機会の確保のための支援づくり
- 施策目標2-9 幼児教育の振興
- 施策目標2-10 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進

政策目標3 義務教育の機会均等と水準の維持向上

全国全ての地域において優れた教職員を必要数確保し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る。

- 施策目標3-1 義務教育に必要な教職員の確保

政策目標4 個性が輝く高等教育の振興

「知識基盤社会」において、我が国が活力ある発展を続けていくために、高等教育を時代のけん引役として社会の負託に十分応えるものへと変革する一方、社会の側がこれを積極的に支援するという双方向の関係を構築する。

- 施策目標4-1 大学などにおける教育研究の質の向上
- 施策目標4-2 大学などにおける教育研究基盤の整備

政策目標5 奨学金制度による意欲・能力のある個人への支援の推進

学生が経済的な面で心配することなく、安心して学べるよう、奨学金制度による意欲・能力のある個人に対する支援を一層推進する。

- 施策目標5-1 意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進

政策目標6 私学の振興

私立学校の振興に向け、教育研究条件を高めるとともに経営の健全性の維持向上を図る。

- 施策目標6-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興

政策目標7 科学技術・学術政策の総合的な推進

科学技術と社会との調和に配慮し、国民、地域、国際等の視点に立ち、科学技術・学術政策を総合的に推進する。

- 施策目標7-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成
- 施策目標7-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興
- 施策目標7-3 科学技術システム改革の先導
- 施策目標7-4 科学技術の国際活動の戦略的推進

政策目標8 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備

学術研究の振興や優れた研究成果の創出・活用の促進を図るとともに、科学技術振興のための基盤を強化する。

- 施策目標8-1 学術研究の振興
- 施策目標8-2 科学技術振興のための基盤の強化

政策目標9 科学技術の戦略的重点化

国家的・社会的課題に対応する研究開発の重点化した推進と新興・融合領域への先見性、機動性をもった対応を実現する。

- 施策目標9-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組
- 施策目標9-2 情報通信分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標9-3 環境分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標9-4 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進
- 施策目標9-5 原子力・核融合分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標9-6 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進
- 施策目標9-7 海洋分野の研究開発の推進
- 施策目標9-8 新興・融合領域の研究開発の推進
- 施策目標9-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進

政策目標10 原子力事故による被害者の救済

原子力事業者による原子力損害を賠償するための措置が適切に図られるとともに原子力損害賠償補償契約に基づく補償を速やかに実施することにより、被害者への迅速、公平かつ適正な救済を図る。

- 施策目標10-1 原子力事業者による原子力損害を賠償するための適切な措置の確保
- 施策目標10-2 原子力損害賠償の補償の迅速、公平かつ適正な実施

政策目標11 スポーツの振興

世界共通の人類の文化の一つであるスポーツの振興により、生涯スポーツ社会の実現に向けて地域におけるスポーツ環境を確保するとともに、我が国の国際競技力を向上させ、子供から大人まで心身ともに健全な明るく豊かで活力のある社会を実現する。

- 施策目標11-1 子供の体力の向上
- 施策目標11-2 生涯スポーツ社会の実現
- 施策目標11-3 我が国の国際競技力の向上

政策目標12 文化による心豊かな社会の実現

優れた芸術文化の振興を図るとともに、我が国固有の伝統文化を継承・発展させることにより、文化による心豊かな社会を実現する。

- 施策目標12-1 芸術文化の振興
- 施策目標12-2 文化財の保存及び活用の充実
- 施策目標12-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進
- 施策目標12-4 文化芸術振興のための基盤の充実

政策目標13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進

人づくりなどに資する国際交流・協力の推進を通じて豊かな国際社会の構築の一翼を担う。

- 施策目標13-1 国際交流の推進
- 施策目標13-2 国際協力の推進

文部科学省事後評価書(平成26年度実績) 評価結果一覧**目標達成(3施策)**

8-2	科学技術振興のための基盤の強化
9-6	宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進
9-8	新興・融合領域の研究開発の推進

相当程度進展あり(8施策)

1-5	ICTを活用した教育・学習の振興
2-9	幼児教育の振興
2-10	一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進
4-1	大学などにおける教育研究の質の向上
7-1	科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成
9-9	安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進
11-3	我が国の国際競技力の向上
12-4	文化芸術振興のための基盤の充実

文部科学省事前評価書(平成28年度新規・拡充事業等) 評価結果一覧

(1) 予算: 8件

予算の要求に必要性、有効性、効率性が認められる

新規	ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業
新規	次世代がん医療創生研究事業
新規	脳科学研究戦略推進プログラム・脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト(臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服)
新規	AIP: 人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト
新規	気候変動適応戦略イニシアチブ 地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム
新規	省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発
新規	統合型材料開発プロジェクト
拡充	次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト

(2) 税制改正要望事項: 2件

税制改正要望に必要性、有効性、相当性が認められる

新規	義務教育学校の創設に係る税制上の所要の措置
拡充	特定国立研究開発法人(仮称)への寄附に係る税制措置の創設